

2023年度 桃防除暦

(株) 山東農園

[フリーダイヤル] 0120-09-9393

[FAX] 073-478-2655

防除時期	対象病害虫	使用薬剤	倍数	収穫前/回数	備考
2月下旬 (催芽直前)	縮葉病 黒星病	石灰硫黄合剤 又はチオノックF	7倍 500倍	発芽前/ー 7日前/5回	
3月下旬 (開花前)	せん孔細菌病	ICボルドー66D グッドパートナー25	50倍 1000~1500倍	ー/ー	
4月上中旬 (落弁期)	黒星・灰星・うどんこ病 シクイムシ類 せん孔細菌病	ストロビーDF ロディー乳剤 バリダシン液剤 グッドパートナー25	2000倍 1000倍 500倍 1000~1500倍	前日/3回 前日/5回 7日前/4回	○灰星病多発園はロブラール水和剤1000倍 ○うどんこ病多発園はトリフミン水和剤1500倍
4月下旬	せん孔細菌病 黒星・灰星・うどんこ病 アブラムシ類・シクイムシ類	マイコシールド水和剤 ナディーボ F ダントツ水溶剤 グッドパートナー25	1500倍 2000倍 2000倍 1000~1500倍	21日前/5回 前日/3回 7日前/3回	○台風襲来や風雨により、せん孔細菌病の発生を 助長されるので風雨直前にマイコシールド1500倍 が良い。マイコシールド連用による耐性菌や 収穫前日数の21日前で使えない場合などは スターナ水和剤1000倍（7日前/3回）や バリダシン液剤500倍（7日前/4回）が良い。 ○カイガラ・ハダニが気になる場合は コルト顆粒水からモベントF2000倍が良い。 ○モベントFとマイコシールド、アグレプト混用の場合 ※混用順 モベントF → アグレプト水 または マイコシールド
5月上旬	黒星病・赤点病 せん孔細菌病 カイガラムシ類	ジマンダイセン水和剤 デランF(かぶれ注意) コルト顆粒水和剤	600倍 600倍 2000倍	21日前/3回 7日前/4回 前日/3回	
5月中旬 (袋掛け前)	せん孔細菌病 黒星・灰星・赤点病 シクイムシ・ハダニ・コスカシバ	マイコシールド水和剤 ダコレート水和剤 サムコル F グッドパートナー25	1500倍 1000倍 5000倍 1000~1500倍	21日前/5回 3日/3回 前日/2回	
5月下旬	黒星・灰星・うどんこ病 シクイムシ類・ハダニ	ナディーボ F ディアナWDG	2000倍 5000倍	前日/3回 前日/2回	○ハダニ類発生園では、ダニコングFを 2000倍（前日/1回）散布する
6月上旬～6月下旬 (早生収穫前)	黒星病・灰星病 ホモブシス腐敗病	スクレアフロアブル	3000倍	前日/3回	
7月上旬～7月中旬 (中生収穫前)	クビアカツヤカミキリ カメムシ類・シンクイムシ	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	前日/3回	
9月上旬(収穫後)	カイガラムシ類幼虫	アプロード水和剤	1000倍	14日前/3回	
落葉初期～ 落葉中期	せん孔細菌病	ICボルドー412 グッドパートナー25	30倍 1000~1500倍	ー/ー	○せん孔細菌病の病原菌が枝に潜伏感染した状態で 越冬させない為に2回防除を徹底する。
10月	コスカシバ (樹幹部及び主幹散布)	フェニックス F	200倍	開花期まで ／1回	
12月	カイガラムシ類	マシン油乳剤（95%）	25倍	発芽前/ー	

●クビアカツヤカミキリ幼虫対策としてフラス（木くず、虫ふん）の発生が確認されたら樹幹・樹枝の食入孔へのロビンフッド（前日/5回）を噴射しながら注入する。

※太文字および下線部分が昨年の防除暦からの変更点になります。